

学校だより

めざす児童像

- よく考える子
- 仲よく助け合う子
- 最後までやりぬく子
- ふるさとにほこりを持つ子



令和3年10月14日（特別号）

「全国学力・学習状況調査」及び「県基礎学力調査」の結果について

5月26日（水）と5月27日（木）に4年生と6年生が全国学力・学習状況調査と県基礎学力調査に取り組みました。本校の結果についてお知らせいたします。

（1）本校の結果と考察

① 各教科の結果

「全国学力学習状況調査」	「県基礎学力調査」
6年生 国語 「県平均を上回る」	6年生 社会 「県平均を上回る」
6年生 算数 「県平均をやや上回る」	6年生 理科 「県平均をやや上回る」
	4年生 国語 「県平均を上回る」
	4年生 算数 「県平均をやや上回る」

② 結果から分かったことと今後へ向けて

<国語>

- ・ 修飾語や被修飾語の関係や指示語など、文法と読解に課題が見られる。（4年・6年）
 - ⇒ 修飾語は、直前や直後の語句を詳しくするだけでなく、離れた語句も修飾することを理解させるために、どの言葉を修飾しているのかを意識させていく。
 - ⇒ 普段の授業から主語と述語を明らかにさせながら、修飾語や指示語を考えさせる機会を設けていく。

<算数>

- ・ 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、見た目が変わっても面積に変化がないことを基に、面積の大きさを比べることに課題が見られる。（6年）
 - ⇒ 同じ図形の敷き詰め活動や、図形の面積や体積の求め方を考える活動をする場面では、具体物の操作を取り入れ、図形に対する感覚が豊かになるような指導をする。
- ・ 算数用語を使っての説明に課題が見られる。（4年）
 - ⇒ 算数用語を授業の中で日常的に使えるように、いい直しをさせたり、一度書いた説明を読み返したりするように指導する。

<理科>

- ・ 理科での学習と日常生活の具体的な事象が結びついていない。（6年）
 - ⇒ 実験で分かったことなどをモデル図やイメージ図で表させたり、理科用語が使えるようにいい直しなどをさせる。機会を見つけ、今までの学習内容と日常生活と関連付ける機会を設けていく。

<社会>

- ・ 2つの資料を関連付けて解答する問題に課題が見られる。（6年）
 - ⇒ 資料を確実に読み取る技能を高める。また、複数の資料から読み取った情報を基に考えたことを表現する活動を工夫する。

（2）質問紙について

- ・ 「教科書に出ていないことや、もっとくわしいことを勉強すること」
- ・ 「授業で学習したことをふだんの生活で生かせないか考える」
 - ⇒ 「好き」と回答した児童の方がその他の回答をした児童よりも正答率が高い傾向がある。今後も、発展的な学習の充実や家庭学習での自主学習などの取り組みを進めていく。
- ・ 「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか。」
 - ⇒ 1日当たり3時間以上テレビゲームに取り組んでいる割合が、石川県よりも高かった。毎月のノーメディアデーの取り組みだけでなく、保護者とも連携した啓発活動を進める。